

番号	氏名	抱負
011	有路 貴樹	放射線治療における放射線技師の役割は多岐にわたる。また施設の形態にあわせた業務や研究が要求される。特に臨床現場にいる視点から患者データを用いた研究に主軸を置き臨床における疑問点を解決するための研究を推進する。そのために各施設における診療倫理委員会等の審査申請の進め方や注意点を喚起し計画的な臨床研究を広く臨床で活躍する放射線技師に推進させたい。
012	安藤 英次	私は技師暦が36年となりました本学会も同年数ですが、代議員立に候補するのがはじめてです。私のX線撮影領域の経験を生かしたいと思い、今回代議員に立候補させていただきます。X線撮影現場に繋がる学会活動の橋渡しを行なうために努力したいと思っていますのでよろしくお願ひ申し上げます。
013	飯田 紀世一	
014	飯村 浩	平成24年より東京支部の役員(財務)をつとめ、地域の学術活動の普及に取り組んでいます。代議員になった暁には、東京支部の会員の声を本部に届け、また当学会が学術団体としてより一層発展するように知恵を絞りたいと思います。
015	飯森 隆志	昨年度より核医学部会委員として活動しております。この度、平成29・30年度代議員に立候補させていただきます。本学会における自己啓発は基より、若手学会員の獲得と育成、さらに多角的・横断的研究を奨励し、特色ある日本放射線技術学会、および関東支部を目指し、努力していく所存です。宜しくお願ひ致します。
016	五十嵐 隆元	放射線防護委員長として1期が過ぎようとしています。この期間中ではJ-RIME委員として診断参考レベルの策定に中心的に関わり、かつ本学会としてその普及活動を推進してきました。今後も放射線防護の立場から、そして市中の一般病院の診療放射線技師としての視点で、学会運営に関わってまいりたく存じます。
017	池田 秀	前年も代議員を務めさせて頂きました。現在関東支部の理事も務めさせて頂いております。以前に技術奨励賞を頂いたことは技師人生の励みになっております。本学会の国際化に向けて尽力していきたいと考えております。私自身、今年3月ECRへ本学会の国際研究集会派遣会員として助成して頂き発表してきました。これらの経験も本学会に恩返しできるよう努めていく所存です。
018	池田 龍二	これまでの21年の診療放射線技師としての職務や1年間の他大学への人事交流、国際学会での発表、学会・研究会等での役員等を等を経験してきました。今後、接遇やプレゼンテーション力は勿論、ランチェスターの法則、Dカーネギーの思考など、技術だけでなく多岐な知識・能力を備えた人材育成が必要と感じています。日本放射線技術学会の今後の発展と飛躍のために、私自身、微力ながらお役に立ちたいと思っております。
019	池野 直哉	
020	石井 亘友	この度、代議員に立候補しました石井亘友とも申します。昨年度より東京支部核医学研究班長を務めております。平成27・28年度東京支部執行方針の「学術事業の充実と活性化」「国際化推進」「組織力強化」を実践すべく事業の企画運営に取り組み、また本部との共同開催企画にも携わっております。このような経験で得た知見や会員のご意見を活かし本学会へ貢献できるよう立候補させて頂きました。よろしくお願ひいたします。